

ディスク・SDメモリーカードの取り扱い

DVD/ビデオCD/音楽CD

持ちかた

ディスクのセンターホールと外周部分を持ちます。



ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



取り扱いのお願い

ディスクそのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

- 記録面に手を触れない
- ディスクが回転する方向に拭かない
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤で拭かない
- ディスクを曲げない、キズを付けない
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止を目的にコピーコントロールが施された音楽CDが発売されています。これは、現状CD規格に合致しないディスクであり、本機での再生は保証致しかねます。

通常のCDを用いた再生には支障がなく、コピーコントロールCDを用いた再生にのみ支障がある場合は、コピーコントロールCDの発売元にお問い合わせください。

CD-R/RWディスクのご使用について

CD-DA、MP3以外のデータを保存したCD-R/RWディスクは、再生できません。

CDレコーダー(CD-R/RWドライブ)で記録したCD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。

CD-R/RWディスクは通常の音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。

CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。

クローズセッションされていないCD-R/RWディスクは再生できません。

お願い

特殊形状のディスクやディスクアクセサリは使用しないでください。
特殊形状(ハート型・八角形・カード型など)のディスクやプロテクトフィルム・スタビライザーなどのディスクアクセサリを使用すると故障の原因になります。

シール・ラベル・テープなどを貼り付けたディスクは使用しないでください。
本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RWは、使用しないでください。

SDメモリーカード

データやSDメモリーカードそのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。(データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。)

SDメモリーカードの挿入口から異物を入れないでください。カードスロットを傷つけて、SDメモリーカードを破損する原因になります。

本機の電源が入った状態で、SDメモリーカードを取り出さない。

SDメモリーカードにデータを書き込んでいるときに、本機の電源を切らない。

本機から取り出したら、必ずケースに収納する。

金属端子部を手や金属で触れたり、汚さない。貼られているラベルをはがさない。

新たにシールやラベルを貼らない。

分解・改造をしない。

強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしない。

ズボンのポケットなどに入れない。(座ったときなどに大きな力が加わり、壊れることがあるため)

保管について

長時間使用しないときは

必ず本機から取り出してください。

ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

長時間直射日光のあたるところ
(車のシート、ダッシュボードの上など)

暖房器具の熱が直接あたるところ

湿気やゴミ・ほこりの多いところ

腐食性のある外気にふれるところ

強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本機は著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。

この著作権保護技術の使用はマクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。

分解したり、改造することも禁じられています。